

## 生後6ヶ月以上5歳未満の 新型コロナウイルスワクチン接種



日本小児科学会・日本小児科医会は、2022年11月  
「生後6ヶ月以上5歳未満のすべての小児への  
新型コロナウイルスワクチン接種を推奨する」方針を提示しました。

.....

### 1. なぜ、生後6か月～5歳未満の接種が必要なのですか。

乳幼児においても重症例が確認されており、基礎疾患がない乳幼児でも死亡する例があります。有効性や安全性、感染状況を踏まえ、乳幼児を対象にワクチン接種を勧めることとされました。

### 2. 生後6か月～5歳未満の接種は、どのような効果がありますか。

生後6ヶ月～2歳未満で約75%、2～4歳で約70%の発症予防効果が確認されています。さらに重症化予防効果は発症予防効果を上回るといわれています。

### 3. 接種する量や回数、接種間隔は、成人や小児(5～11歳)と同じですか。

1回あたりの量は、5～11歳で接種する量の30%、12歳以上で接種する量の10%です。接種回数は3回で1セット、2回目は1回目の接種から3週間の間隔で、3回目は2回目の接種から8週間経過した後に接種します。

### 4. 生後6か月～5歳未満の接種にはどのような副反応がありますか。

接種部位の痛みや、発熱、頭痛、倦怠感等で、ほとんどが軽度または中等度で短期間でした。現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。

### 5. 接種時に必要なものはありますか。

原則、保護者の同伴が必要となります。また、母子健康手帳の持参をお願いします。その他、送付された接種券等一式と本人確認書類(マイナンバーカード、健康保険証等)を忘れずにお持ちください。

### 6. 生後6か月～5歳未満の接種に向けて、保護者が気を付けることはありますか。

接種前は体温測定やそのほか体調に変化がないか確認してください。  
ワクチン接種後数日以内は、様々な症状に注意しながら過ごす必要があります。  
食欲や活気がない等普段と違う様子が続くようであれば、速やかに医療機関を受診し、ワクチンを接種したことを伝えてください。また、引き続きマスクの着用等、基本的な感染対策の継続をお願いします。

